学部特色入学試験

神学部（出願資格(2)Cの者）

入学志願調書（外国人留学生用）

フリガナ	
氏　　名	
現住所	〒　　－ TEL　　－　　－ 携帯　　－　　－
E-mail	
志望学部・学科・課程・専修・コース・専攻	学部　　学科　課程　　専修　コース　専攻

本学で何を学びたいかを、志望学部・学科・課程・専修・コース・専攻と関連づけて簡単に記入してください。

高校時代の課外活動およびそれ以外のスポーツ・趣味などについて記入してください。

海外体験に関する自己の評価(反省点を含む)を記入してください。

海外在住理由	□ 保護者の海外赴任に同伴したため　□ 奨学金を得て留学したため □ 海外で生まれ育ったため　□ その他：＿＿＿＿＿＿＿＿

学　　歴		
学　校　名	学　校　所　在　地	在　学　期　間
小学校		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込
		年　　月入学 年　　月卒業･転出･卒業見込

日本語の能力		日本語による大学生活に全く不安を感じない。
		日本語による大学生活にやや不安を感じる。
		日本語による大学生活に困難が予想される。

国または公的機関による統一試験等の受験		
試　験　名	受験地・年月日	成　績

保　護　者			
氏　名		本人との関係	
住　所	〒　　－ TEL　　－　　－		
E-mail			

連　絡　人（保護者が海外に居住している場合のみ記入）			
氏　名		本人との関係	
住　所	〒　　－ TEL　　－　　－		
E-mail			

学部特色入学試験

神学部（出願資格(2)Cの者）

年　　月　　日

留学費用の支弁方法について

関西学院大学長　殿

氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

わたしは関西学院大学に入学後、次の方法にて学費、生活費等の留学費用を支弁いたします。

1．本人が支弁する

(1) 支弁方法：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．両親が支弁する

(1) 支弁者氏名（フリガナ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 支弁者住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 支弁者職業：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 支弁者年収：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（日本円）

(5) 支弁方法　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3．本人・両親以外が支弁する

(1) 支弁者氏名（フリガナ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 本人との関係：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 支弁者住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 支弁者職業：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(5) 支弁者年収：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（日本円）

(6) 支弁方法　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以　上

※裏面の記入サンプルを参考に丁寧な字で書いてください。

記入サンプル

2022年 ○ 月 ○ 日

←
記入漏れが多いです。
必ず書いてください。

留学費用の支弁方法について

関西学院大学長　殿

氏　　名：○○○○

わたしは関西学院大学に入学後、次の方法にて学費、生活費等の留学費用を支弁いたします。

←
1. 2. 3.
いずれかに○をつけて、情報を記入してください。

1．本人が支弁する

(1) 支弁方法：

②. 両親が支弁する

(1) 支弁者氏名（フリガナ）：○○○○

(2) 支弁者住所：○○○○

電話 ＋国番号-○○○-○○○○

(3) 支弁者職業：会社員

(4) 支弁者年収：4,000,000円 （日本円）

(5) 支弁方法　：海外送金により、学費と生活費を支弁する。

3．本人・両親以外が支弁する

(1) 支弁者氏名（フリガナ）：

(2) 本人との関係：

(3) 支弁者住所：

電話

(4) 支弁者職業：

(5) 支弁者年収：　（日本円）

(6) 支弁方法　：

以　上